

朝来市行財政改革推進委員会 第7回会議 会議録

○ 開催日時 令和5年9月7日（木）13時25分～15時25分

○ 開催場所 朝来市役所本庁舎 3階 庁議室

○ 出席者の氏名

	出席者	欠席者
委員	恵 阪 寿 人	片 山 剛 伸
	北 見 龍 彦	
	倉 田 良 樹	
	下 口 光 子	
	玉 田 恵 美	
	中 島 し の ぶ	
	山 本 正 之	
事務局 企画総務部 総合政策課	政策担当部長 掃 部 直 樹	
	総合政策課長 和 田 幸 司	
	課長補佐 馬 袋 真 紀	
	課長補佐 太 田 晋 平	

○ 傍聴者 なし

○ 会議

1 開会

第7期朝来市行財政改革推進委員会の第7回会議を開催します。

2 あいさつ

会長 こんにちは。残暑厳しい中、お集まりいただきありがとうございます。
本日の審議事項は、先月に続いて「事務事業評価に係る外部評価について」であり、重要な審議事項である。評価の視点に基づいて、しっかり審議をお願いしたい。

3 審議

(1) 事務事業評価に係る外部評価について

○外部評価の実施

2グループに分かれて、資料3「令和5年度行政マネジメント事務事業シート（R4決算）」をもとに、6事業について外部評価を行った。

外部評価内容については別紙のとおり。

○講評

会長 Aグループは生涯学習課の3事業、Bグループは学校教育課の3事業の評価を実施した。いずれの事業も、事業を実施しなければ市民生活が成り立たないという事業ではないからこそ、より効果的・効率的な事業推進が求められる。その点からも、より効果的・効率的な事業推進となるよう、委員の専門的な見地や経験を活かし、改善提案を出すことができた。

4 その他

(1) 第6回会議会議録の確認について

8月23日付で委員各位には会議録の確認依頼を行った。委員からは変更等についての連絡がなかったため、確認いただいた内容で会議録を確定する。

(2) 次回以降の開催日程について

第8回は9月26日(火)15時00分～17時00分に開催する。内容については、中間答申(案)の審議、その後、市長へ中間答申し、市長と意見交換を行う予定としている。よろしくをお願いしたい。

5 閉会

副会長 委員のみなさん、2時間にわたり熱心に議論いただき、良い議論となった。次回は中間答申をまとめることとなっている。委員会への出席についてよろしくをお願いしたい。

事務事業評価に係る外部評価

No.	事務事業名	事務事業に関する意見	その他意見	判定
1	生涯学習推進員設置事業	<p>■生涯学習の推進方法について</p> <p>○成果指標が事業目的と合致しておらず、事業効果が分かりづらい。担当課の説明では、生涯学習推進員の役割が地域で生涯学習を推進していくためのコーディネーターまでには至っていないとのことであった。現状のままでは、生涯学習推進員が学習会や講演会で学んだことを各区・地域等で還元し、地域における生涯学習の推進活動につなげているとはいえないのではないかと。</p> <p>○生涯学習推進員を設置することが目的化しているのではないかと。朝来市における生涯学習とは何かを整理したうえで、生涯学習の推進方法について整理する必要がある。</p>	○事務事業名が生涯学習推進員設置事業になっているが、設置することが目的ではなく生涯学習を推進することが目的であるため、事務事業名の変更が必要ではないかと。	改善
		<p>■生涯学習推進員の設置について</p> <p>○区ごとに生涯学習推進員を設置することが困難な状況や生涯学習推進員の本来の役割が果たされているとはいえない状況に加え、地域自治協議会単位で様々な生涯学習活動が推進されている現状を踏まえると、区単位の生涯学習推進員の設置については再考し、新たな生涯学習の推進方法を検討する必要がある。</p>		段階的廃止
2	成人式開催事業	<p>○二十歳の集いへの出席率が高いことは評価できる。</p> <p>○二十歳の集いを通じて、地域への愛着の醸成や、朝来市をはじめとする近隣自治体での就業等を促すための機会にしていくことが重要である。</p> <p>○現在は、市内事業者の紹介冊子を配布しているとのことだが、冊子の配布だけでは市内事業者の魅力を伝えることは難しい。市内事業者、商工会、ハローワーク等関係機関と連携し、紹介ブースや対話の場づくりなど市内事業者の魅力を伝える方法を検討してはどうか。</p>	○開催時期が冬季であり、積雪を考慮する必要がある。また、大学生であれば、年末年始の帰省のまま成人式に参加した場合は授業を休講することになり、短期間でも大学生活に戻った場合は続けての帰省となり費用が高くなってしまふ。お盆や年末年始など帰省しやすく、出席しやすい時期に再考してはどうか。	改善
3	社会体育事業	<p>○競技人口の高齢化や余暇の過ごし方の多様化等により、区などの地域でチーム編成ができず、参加チーム数が減少している状況を踏まえ、①チーム単位での参加から個人単位での参加に変更する、②当該スポーツを普段からしていなくても参加可能な内容に変更する、といったように、誰もが参加しやすい内容に再編することが必要ではないかと。</p> <p>○ただし、再編にあたっては、地域単位でチーム編成ができ、現在の大会への参加を楽しみにされている地域の想いも尊重し、体育協会主催の大会への参加ができるように工夫する(競技の部と交流の部をつくるなど)必要がある。</p>		改善
4	小学校特色ある学校づくり事業	<p>○児童・生徒のニーズを把握するなど自主性・主体性を重んじながら、推進方法や内容を検討してはどうか。</p> <p>○地域の特色を活かすことができる学校づくりに加え、教職員の負担軽減なども踏まえ、学校運営協議会と連携した取組にすること。</p> <p>○そのためには、地域自治協議会などの地域団体・グループ等の多様な地域人材が主体的に学校運営に関われるよう、開催時間や構成メンバーなど学校運営協議会の運営方法の改善が必要である。</p>		改善
5	中学校特色ある学校づくり事業	<p>○前例踏襲ではなく、地域の現状なども踏まえながら取組内容や推進方法を整理していくためには、必要に応じて学校運営協議会以外の第三者が関われる仕組みも検討してはどうか。</p>		
6	わくわくオーケストラ教室事業	<p>○全県的に取り組んでいる事業であるため、柔軟な改善はできないが、朝来市少年少女オーケストラと連携するなど、市の独自性を活かした取組に改善できるよう、県へ働きかけてはどうか。</p> <p>○一定の保護者負担を求めることは理解できるが、全生徒が参加する事業であるため、今以上に保護者負担を求めることは適切ではないのではないかと。</p>		改善